



### 平成26年度 前期学校評価結果をお知らせします。

毎年ご協力いただいています、学校評価アンケート。前期・後期に一度ずつ、年間2回実施し、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めています。今年度はアンケート項目を、「**高倉の教育**」リーフレットの内容と**リンクするようにしました**。回答していただく時に、それをもとに考えていただくことができると考えたからです。

保護者アンケートと教職員アンケートは、「重要度」と「実現度」を尋ねるアンケートとしました。このアンケートの特徴は、重要度と実現度の関係を相対的にとらえることで、学校の魅力、課題が見えやすくなることです。

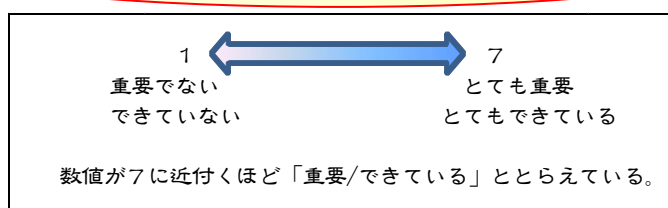
まずは、回答していただいたアンケート項目についてお伝えします。

#### 【今年度のアンケートの項目について】

- ・高倉教育の中で大切に取組んでいきたいことに絞りました。
- ・保護者、児童、教職員でできるだけ同じ内容にし、認識の比較をしやすいしました。

	保護者・教職員 アンケート項目		児童 にこにこアンケート
確かさを育む教育	子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力を身に付けること	学習	毎日の授業がよくわかる。
	教師がわかる授業を目指して、指導法を工夫すること		先生が分かりやすい工夫した授業をしている
	子どもが授業の中で、自分の考えをしっかりともち、ノートに書いたり、友だちと話し合ったりすること		授業中、自分の考えたことをノートに書いたり、すすんで発表したりしている。
	子どもが家庭で読書する機会が増えること		家でも読書している。
	子どもが家庭で宿題を中心とした学習を毎日きちんとしたり、予定表を見て次の日の準備をしたりすること		家で、宿題やおうちできめた学習をしっかりとし、次の日の準備もきちんとできている。
	子どもが約束を守り、集中して学習できていること		約束を守り、集中して学習している。
豊かさやたくましさや育む教育	子どもが日々の学校生活を「楽しい」と感じる	生活	毎日の学校生活が楽しい。
	子ども一人一人が大切にされ、認められる学校であること		自分は友だちから大切にされている。
	子どもが仲間を大切にできる気持ちで学校生活を送ること		友だちを大切にしている。
	子どもがきちんとあいさつできること		きちんとあいさつをしている。
心と体を育む教育	子どもが学校のきまりや約束をしっかりと守ること	健康	学校のきまりややくそくをしっかりと守っている。
	子どもに、早寝、早起き、朝食といった基礎的な生活習慣が身についていること		毎日、早寝早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりできている。
	子どもがすすんで体を動かしたり、スポーツ活動に参加したりすること		すすんで体を動かしたり、スポーツ活動に取り組んだりしている。
	子どもが自分の健康に関心をもち、自分の心や体を大切にすること		自分の健康に関心をもち、自分の心や体を大切にしている。
高倉の特色ある教育	子どもが、地域の様子や伝統文化について自ら学ぶ学習を進めること	高倉小ならでの学習	地域や昔から伝わることについての学習で、自分ですすんで調べたりまとめたりすることができている。
	子どもが学習や行事を通して、地域の方々とふれ合えること		地域や昔から伝わることについての学習で、地域の方とふれあいが学習している。
学校・家庭の連携	子どもの姿を通して、学校と保護者が成長や課題を共有すること	その他	大人の人（おうちの人や先生）にいろいろな話をしたり相談にのってもらったりしている。
	スマイル21プラン委員会（学校運営協議会）の取組が、子どもたちの学びを広げていくこと		

#### 保護者・教職員のアンケート結果から



#### 重要度・実現度がともに高い項目 = 高倉小の魅力

	項目	保護者		教職員	
		重要度	実現度	重要度	実現度
確かさ	教師がわかる授業を目指して、指導法を工夫すること	6.7	5.3	7	4.5
豊かさやたくましさ	子どもが日々の学校生活を「楽しい」と感じる	6.9	5.5	7	5.7
	子ども一人一人が大切にされ、認められる学校であること	6.7	5.3	7	5.2
	子どもが仲間を大切にできる気持ちで学校生活を送ること	6.8	5.3	7	5.2

#### 重要度は高いが、実現度が低い項目 = 高倉小の課題

	項目	保護者		教職員	
		重要度	実現度	重要度	実現度
確かさ	子どもが授業の中で自分の考えをしっかりともち、ノートに書いたり、友だちと話し合ったりすること	6.5	4.7	7	4.4
	子どもが家庭で読書する機会が増えること	6.3	4.1	6.5	4
豊かさやたくましさ	子どもがきちんとあいさつできること	6.8	4.7	6.6	4.1

「子どもが楽しく学校に通うこと」「一人一人大切にされる・されること」について保護者から高い評価結果が出ていました。「わかる授業を目指して、指導法を工夫すること」についても保護者からは肯定的な回答率が高く、教職員も現状に満足することなく、さらに努力していきたいと考えています。各種の学力テスト等の結果にも成果となって表れています。

食は健康の源です。何をするにも体が資本になるので「食育」を中心に知徳体の「体」の方も取組を進めていきます。

「…、友だちと話し合ったりすること」については、「書きたい」「伝えたい」という意欲をもてるように子どもの「？」を大切に子ども主体の学習を構築したり、「書き方」「伝え方」の引き出しを増やすようにしたりして、言語活動の充実を図っていくようにします。また、英語教育・イングリッシュシャワーの取組を広げ、成果を上げていきたいと考えます。

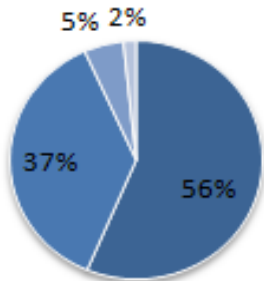
あいさつについては、保護者と教職員が連携を図り、大人が「手本」となることが大切であると考えます。



子どもたちのアンケート結果は、裏面をご覧ください。

## 学習について

毎日の授業がよくわかる



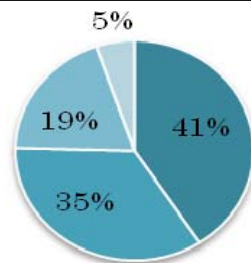
「毎日の授業がよくわかる」では、「そう思う」「大体そう思う」と答えている児童の割合を合わせると、93%という結果となりました。学ぶ意欲を育てることは、「生きる力」につながるものであるため、学ぶことの楽しさを感じられるような授業づくりを目指していきます。

## 児童のアンケート結果より

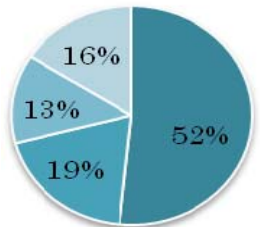
- そう思う
- 大体そう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



授業中、自分の考えたことをノートに書いたり、すすんで発表したりしている



家でも読書している

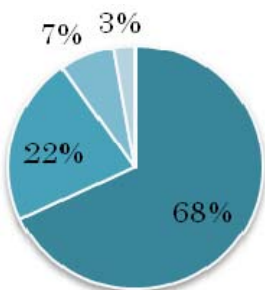


学習面で、6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果から「書く・話す」についての力はあり、苦手意識をもつ児童は少ないことが分かりました。ただ、「授業中、自分で考えたことをすすんで発表する」については、「大体そう思う」まで含めて75%以上なのでよい傾向ですが、さらに向上の余地ありと考えます。前述しましたが、子どもたちが意欲的に主体的な言語活動ができるよう手立てを講じていきます。また、「家でも読書している」については、「大体そう思う」まで含めると70%という結果となりました。わずかな時間でも、ちょっと本を手にとってみるということができればと考えます。そんな環境づくりをご家庭でもしていただくことはできないでしょうか。

## 生活について

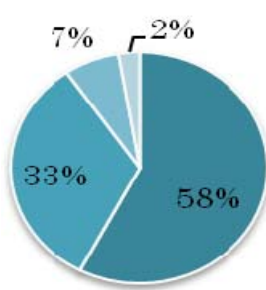


毎日の学校生活が楽しい

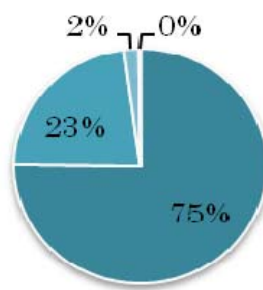


「毎日の学校生活が楽しい」と答えている児童の割合が、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると、90%となりました。また、「友だちを大切にしている」と感じている児童は98%と多いのですが、「友だちに大切にされている」と感じている子どもたちは91%とやや下がってしまいます。今後も、子ども一人一人を見つめ、温かい学級づくりや個々のよさを引き出す取組をしていきたいと考えます。

友だちに大切にされている

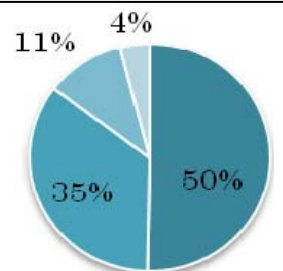


友だちを大切にしている



## 健康について

毎日、早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりできている。



「毎日、早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりできている」と答えている児童の割合が「そう思う」「大体そう思う」を合わせると85%となりました。このグラフには表れていませんが、5・6年生では2割が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答しています。学校では、毎月15日を「健康の日」とし、保健・食・安全にかかわる学習を行い、自分の健康に対する関心が高まってきています。しかしながら、行動と連動させていくためには、ご家庭のご協力が不可欠となります。

## ～学校運営協議会 拡大理事会より～



10月10日（金）に、スマイル21プラン委員会拡大理事会を行いました。理事である7学区自治連合会会長様、7部会の部長・副部長様、PTA会長様、PTA本部役員代表の方などにご参会いただき、下記のようなご意見を頂きました。後期の取組につなげていきたいと考えます。

- ・子どもたちが学ぶ場所は学校だけではない。町も子どもたちの先生である。この高倉学区は人との出会いが多い町。そして保護者の方々も教育に関心が高い。そんな中で、子どもたちも学ぶ意欲をもち、学習に取り組んでいる。さらに地域ぐるみの教育の核となる学校づくりを推進したい。
- ・学力だけでなく、規範意識や豊かな感性・情操を育むなど、豊かな心を育てていきたい。子どもたちには、社会貢献のできる人間になってほしい。
- ・授業の中で自分の考えを書き、話し合いをし、子どもたち自身が学習を進めるというアウトプットのスタイルは主体的で、確かな学力としてその成果が出ていると感じる。
- ・今で満足せず、変化し続けることが大切であり、そのためにも学校評価の必要性がある。



前期学校評価結果については、HPにも公開します。どうぞご覧ください。